



気持ちのいい季節がやってきました！今回は低身長の中でもちょっとなじみがないSGA低身長についてのお話です。

発行：そらいろこどもクリニック

SGA性低身長とは？

SGAとは

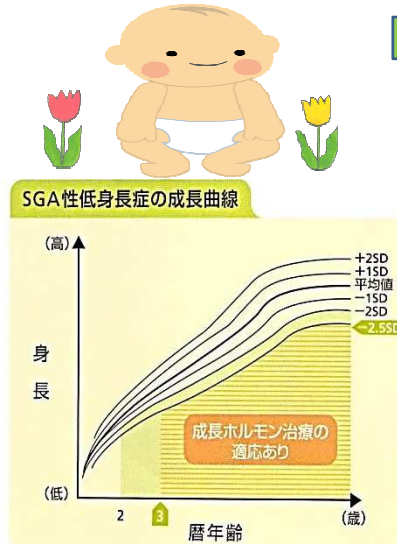
SGAとは、small-for-gestationalの略で、「**お母さんのおなか**にいる期間に応じた**本来の大きさよりも小さく生まれること**」を意味しています。

お母さんのおなかの中の赤ちゃんは、おなかの中にいる期間（在胎期間）に応じて成長します。もちろん、赤ちゃんによって大きさの差はありますが、通常は一定の範囲内の個人差です。ところが何らかの原因でおなかの中の赤ちゃんの成長が十分でなく、同じ在胎期間で生まれた赤ちゃんの身長／体重のSGAの頻度は出生時の2.3～10%と推定されています。

SGA性低身長とは

SGAイコール病気というわけではありません。心配しなくても、たいいていのSGAの子どもの場合は年齢が進むにしたがって成長は他の子どもにおいつきます。実際、SGAの子どもの多くは2歳までに平均的な身長範囲内に到達します。これをキャッチアップ（追いつき現象）と呼びます。

しかしながら、SGAの子どもの10～15%はキャッチアップを示さず、低身長が持続します。2歳までにキャッチアップが見られず低身長が持続する場合は、「SGA性低身長」と診断されますが、すべての「SGA性低身長症」が、成長ホルモン治療の適応となるわけではありません。3歳以上になってもキャッチアップがなく、身長SDスコアが同年齢の-2.5SD未満であれば、治療を開始することができます。



***SDとは**
「標準偏差」の略で、集団内のばらつきをさし、+2SDから-2SDの間に集団全体の約95%が含まれます。身長の程度は、このSDスコアで表され、身長が平均値の-2SD以下の低身長の子どもは、100人のうち2～3人となります。

SGAにはどんな特徴があるの？

- ◆ SGAの子どもの多くは生まれてから最初の1年でキャッチアップが起こり、SDスコアが平均身長の-2SD以上になります。キャッチアップは通常、遅くとも2歳までには終了しますが、超早産児（在胎期間が28週未満）の場合、4歳くらいまでキャッチアップ現象が続きます。なお、キャッチアップしたSGAの子どもの成人したときの平均体重は、普通の成人の平均身長よりやや小柄（身長スコアが-1SDほど）です。
- ◆ キャッチアップの際に身長だけでなく体重が急激に増えることがあるので、キャッチアップ後も肥満には十分に注意する必要があります。
- ◆ SGA性低身長の子どもの場合、思春期が来る時期が平均的にやや早いことがわかっています。思春期に入ると、身長はぐっと伸びますが、思春期が始まって数年経つと性ホルモンのはたらきで骨が成熟し、大人の骨になって身長伸びが止まります。そのため、身長が低い状態で思春期を迎えてしまうことは、成人身長が低くなる要因となります。
- ◆ また、インスリンが効きにくい体質になりやすいのが特徴です。特に急激に体重が増えた太り気味の子どもに多いことがわかっています。インスリンは糖を血液中から体の組織内に取り込むために必須のホルモンなので、インスリンが働きにくい状態になると、血液中の糖が増え、糖尿病になりやすくなります。

もしかして・・・

気になる方は、母子手帳を持参して受診をしてくださいね☆

今月の絵本

ぐりとぐら 作：中川李枝子 絵：大村 百合子

食べる大好き お料理大好き
そんなぐりとぐらが作った大きなカステラを
森の仲間と仲良く分けます。
そのカステラがとっても美味しそう～!!
そして最後に大ききながらで ぐりとぐらは何を作ったのかな…?



おしらせ

新学期の始まりですねご入園、ご入学おめでとうございます。
5/9（火）14：00～16：00に
第7回「そらいろこどもまつり」を開催します!!
診察がない方も、ぜひ遊びに来てくださいね♪♪
雨が降ったら、クリニックの中でやりますよー!!



次回もおたのしみ～

